

平成30年度病虫害発生予察指導情報

対象病虫害：ナシ黒星病（No. 9）

平成30年5月7日
鳥取県病虫害防除所

表1 病落葉からの子のう胞子飛散状況（調査地点：鳥取県園芸試験場）

単位:個

月・半旬	平成30年	平成29年	平年（H20～29）
3・5	0	0	－
3・6	0	1	0.1
4・1	0	1	0.1
4・2	0	19	3.7
4・3	0	0	4.1
4・4	0	1	2.1
4・5	1	0	2.5
4・6	0	1	1.6
5・1	0	1	0.7
5・2		0	0.8
5・3		0	0.5
5・4		0	0.5
5・5		0	0
5・6		0	0

注）－は欠測

表2 果（花）そう基部病斑からの分生胞子飛散状況
（調査地点：鳥取県園芸試験場）

単位:個

月・半旬	平成30年	平成29年	平年（H20～29）
3・5	4.2	0	－
3・6	0*	2.6	6.1
4・1	9.1	6.2	6.6
4・2	14.9	7.1	5.1
4・3	1.1	2.0	9.1
4・4	0*	4.7	3.8
4・5	69.0	3.8	3.4
4・6	0*	0	4.8
5・1	13.8	0	0.2
5・2		0	2.1
5・3		0	0.9
5・4		2.3	10.4
5・5		3.0	61.2
5・6		82.9	13.6

注）－は欠測。＊は無降水のため調査未実施。

<情報の内容>

5月第1半旬調査結果

- ・病落葉からの子のう胞子の飛散は、認められなかった。
- ・花そう基部からの分生胞子の飛散量は、平年に比べて多かった。

<参考>

- ・子う胞子採集方法
病落葉（前年採取）上に設置した静置式胞子採集器内にグリセリンゼリーを塗布したスライドガラスを静置（24時間）し、スライドガラスに付着した胞子数を調査した。
- ・分生胞子採集方法
雨滴法（ロートを罹病した腋花芽の下に設置）により採取した雨滴中の胞子数を降雨日ごとに調査した。